

## 一般演題 高気圧酸素治療の臨床② OP6-4 当院の過去3年間における下肢末梢循環障害に 対する高気圧酸素治療の現状

○菅原 元<sup>1)</sup> 世古口 英<sup>1)</sup> 金子鎮二<sup>2)</sup> 谷川祐樹<sup>3)</sup>  
西山和芳<sup>3)</sup> 兵藤好行<sup>3)</sup>

- |                 |
|-----------------|
| 1) 豊田厚生病院 外科    |
| 2) 豊田厚生病院 循環器内科 |
| 3) 豊田厚生病院 臨床工学室 |

### 【はじめに】

下肢の末梢循環障害による足趾壊死症例や下腿潰瘍は時に難治性を呈し、切断を余儀なくされる症例も散見される。本検討の目的は、当院で高気圧酸素治療（HBO）を施行した下肢の末梢循環障害症例の治療経過および治療効果を検討し、HBOを含めた集学的治療の有効性を評価することである。

### 【対象と方法】

2021年から2023年の3年間に当院で下肢末梢循環障害に対し、HBOを施行した8例である。高気圧酸素治療を施行した年齢、性別、既往歴、現病歴、治療回数、集学的治療内容、治療開始後治療までの期間、治療の有効性について検討した。

### 【結果】

HBO施行症例は48～79歳、男性6例女性2例であった。既往歴は糖尿病6例、腎不全4例（透析施行中）、狭心症によるCABG施行2例、腹部大動脈瘤による人工血管置換術1例、ASOによる血管内治療施行1例（重複あり）であった。下肢の循環障害の原疾患は、足趾壊死が5例、下腿潰瘍が3例であった。治療回数は4～30回であった。嘔気の副作用により1例のみが4回で中断した。治療内容としては、HBOのみで治癒した症例が2例、HBOと局所陰圧閉鎖療法（VAC）を併用した症例が2例、HBO・VAC・植皮を併用した症例が4例であった。治療開始後、創が完全治癒したと判断されるまでに要した期間は3～9ヶ月であった。8例全例の創が上皮化し、救肢率100%であった。

### 【考察】

下肢の難治性足趾壊死および下腿潰瘍に対しHBOを含む集学的治療が有効である可能性が示唆された。今後はHBOおよびVAC療法を併用するタイミングや期間を検討し、効果的な治療を模索していきたい。